東京　明治十六年八月十五日　水曜日　第四百四十號　日曜日休刊　定價金三錢

諸達伺公報

○陸軍省達甲第二十九號府縣（北海道三縣沖繩縣ヲ除ク）今般陸軍教導團各兵科生徒七百名以（角歩兵科四百名騎兵科二十名砲兵科百名工兵科百五十名諸兵隊三十名）召募條例別條例第三章第二條及第三條掲示之通取計各府縣毎ニ入學願書取纏メ來ル十月十五日（東京府下ハ十二月十五日）迄ニ教導團ヘ送附可致仍テ別冊教導團各兵科生徒入學檢査格例及志願者心得相添此旨相達候事

明治十六年八月十四日　陸軍卿大山巌

明治十六年陸軍教導團各兵科生徒入學檢査格例及志願者心得

○明治十六年陸軍教導團各兵科生徒入學檢査格例

第一條　檢査ヲ分ケ四則トス、第一則年齢、第二則身体、第三則讀書作文、第四則算學○第二條　第一則各兵科生徒ハ滿十八年以上廿五年以下砲兵生徒ハ滿十六年以上廿三年以下タルヘシ「但年齢ヲ算スルニハ來ル明治十七年一月ヲ以テ期トス」○第三條　第二則ノ檢査ハ砲兵科身長五尺二寸以上歩騎工輜重兵科並砲兵ハ同五尺以上体質强壯ニシテ砲兵生徒ハ齒列齊密ノ者○第四條　第三則ノ檢査（其科目ヲ分テ二トス、其一讀書、日本歴史地誌ノ類其二作文復文○第五條　第四則ノ檢査ハ左ノ如シ、數學加減乘除）

（以下次號）

叙任賞勲

○八月十三日

元老院議官從四位勳三等　長岡護美

荷蘭國皇帝陸下ヨリ贈與シタル「ゴロートコロイステルオルデアンデンネーデルランドセンレーウ」勳章ヲ受領シ及ヒ佩用スルヲ允許候事

外務二等屬　齋藤桃太郎

伊太利國皇帝陸下ヨリ贈與シタル「カバリエレデルオルジネデルサンマウリシオエラツアーロ」勳章ヲ受領シ及ヒ佩用スルヲ允許候事

○八月三日

兵庫縣令　森岡昌純

勅任ニ被進自今月俸五十圓增給候事

○八月十三日

新田俊純

菊池武臣

特旨ヲ以テ華族ニ被列候事

○八月十三日

任外務少書記官　齋藤修一郎

從六位

時事新報

李鴻章ノ辞職

支那ハ東洋ノ古國ニシテ人民多ク土地廣ク世界無比ノ大國ナリ蓋シ支那ハ斯ク人民ノ多キ有シ土地ノ大ナル係ツガ爲メニ却テ其法ヲ布キ政ヲ施スニ當ニ容易ノ業アルヲ免カレテ北京ヲ始メ天津上海廣東等何モ外國人ノ輻輳スル土地ハ國體ハ人民卿カ文明ノ光曜ニ向ハントスルノ傾キヲアラハシト雖モ猶ホ僻遠隅ニ至ルニ從ヒ尚ホ蛮風汚俗ノ見ルニ忍ビザル者少カラズ殊ニ政令則チカラザルガ爲メ建場ノ直民官吏ヲ殺ス祖ミ焼ク等ノ事ハ實ニ驚ク可キ事ナリ其他ハ次第ニシテ酷吏ノ虐政ニ苦ムモノ多シ故ニ當ニ此ニ斯ル事ノ